

事業番号	09 04 32	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	和牛の受精卵確保緊急対策事業			担当課	部局	農政部	
					課・室	園芸畜産課	
総合5か年計画	プロジェクト			E-mail	<a href="mailto:enchiku@pref.nagano.lg.jp">enchiku@pref.nagano.lg.jp</a>		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	H27	～	H28
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-（1）経済構造の転換 ア県内産業の競争力強化 （ウ）農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	受精卵を供給する「繁殖農家」、受精卵を移植し和子牛を生産する「酪農家」、和子牛を受け入れて育成・肥育する「肥育農家等」からなる受精卵移植(ET)連携体制を強化し、受精卵移植技術の持続的な活用による和牛出生頭数の増加及び農家所得の向上を図る。												
現状(予算編成時)	和牛出生頭数の減少に伴う子牛価格の高騰や受胎率の向上等により、全国的に受精卵移植の需要が増加している。遺伝的産肉能力に優れた繁殖牛からの受精卵採取を進めているが、採卵による空胎期間延長等の懸念から、受精卵を利用しない所有者は採卵に消極的である。全国最大の受精卵供給元である全農ET研究所では、全国からの注文が殺到し需要を満たす供給が困難となっている。												
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 農産物産出額の向上のため、和牛生産基盤の強化が必要である。家畜改良増殖法					県民との協働による実施： 実施中						
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)												
	ET連携体制による採卵数360卵 (設定理由:現在不足している和牛の受精卵について、2年間の事業実施で需要量の90%を確保することを目指し360卵と設定)												
	② 事業内容 (単位:千円)												
		項目	実施方法	H28実施内容	H27(当初)	H28(要求)	H28(予算案)						
		ET連携体制の構築及び優良和牛受精卵の確保	補助金	ET連携体制で実施する優良繁殖牛からの採卵推進	3,300	3,300							
	ET連携体制の構築支援	直接	情報収集及びマッチングを通じたET連携体制の構築支援	115	115								
			合計	3,415	3,415	0							
事業コスト	区分(単位:千円)	26年度	27年度	28要求	28予算案	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末(見込)	H28		H29目標	
		当初予算		3,415	3,415			目標	成果	達成状況			
		補正予算						体制による採卵数	-	360卵	360卵		
		合計(A)	0	3,415	3,415	0							
	Aの財源	一般財源		3,415	3,415								
		県債											
		国庫支出金											
		その他	0	0	0	0							
	決算額(B)												
概算人件費	職員数(人)		1.30	1.30									
	概算人件費(C)	0	10,735	10,735	0								
	概算事業費(B(A)+C)	0	14,150	14,150	0								
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)							
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善													
要求からの主な変更点													